

Summer 2022

TAKE FREE

YIA Newsletter

公益財団法人 山梨県国際交流協会



山梨で働く外国人住民

山梨の外国人就労者の状況
働く外国人住民インタビュー

特集 山梨で働く外国人住民

全国状況

少子高齢化が進み、働き手が減少する中、国内の産業は深刻な人手不足に陥っています。このような状況下、2019年4月から、外国人材を積極的に受け入れるための新たな在留資格「特定技能」が創設されました。これにより、単純労働と言われる職種にも外国人の就労機会が広がりました。

日本に住む外国人は、約282万人（令和3年6月末）、総人口の約2.2%となっています。日本で働く外国人も増加し、令和2年度には172万人と過去最高を記録しました。外国人労働者数・雇用事務所数ともに、毎年最高記録を更新し続けています。（表1）

こうした中、山梨県で働く外国人の状況はどうなのでしょう。

山梨県に暮らす在留外国人数は、約17,000人、ここ数年は、コンビニや飲食店などで外国人が働いている姿を見かけるようになりした。

山梨も同様に、外国人労働者数及び雇用事務所数は、過去最高を更新しました。県内外国人労働者9,208人を国籍別で見ると、ベトナムが一番多く、次にブラジル、中国と続いています。（表2・表3）

在留資格別では、永住者、定住者、日本人の配偶者など「身分に基づく在留資格」が5割を超え最も多く、これからも県民として山梨に住む続ける人が多いと言えます。次に、「技能実習」が2割となっています。（表4）

産業別では、食品加工や調理、電気機械器具などの「製造業」で働く外国人が一番多く、二番目に多いのは、労働者派遣業や自動車整備業などの「サービス業（他に分類されないもの）」です。その他、コンビニなどの「卸売業・小売業」やレストランなどの飲食サービス業やホテルなどの宿泊業で働いている人も多く、外国人が幅広い業種で働いていることがわかります。人手不足が深刻化している中で、外国人は重要な働き手となっていると同時に、多くの外国人がともにこの山梨を支えています。（表5）

今後コロナ禍が収束に向かえば、外国人労働者のニーズはますます高まると考えられます。同時に、外国人が日本で安心して働き、生活ができるよう、環境の整備が求められています。

表1 国籍別にみた外国人労働者数の推移

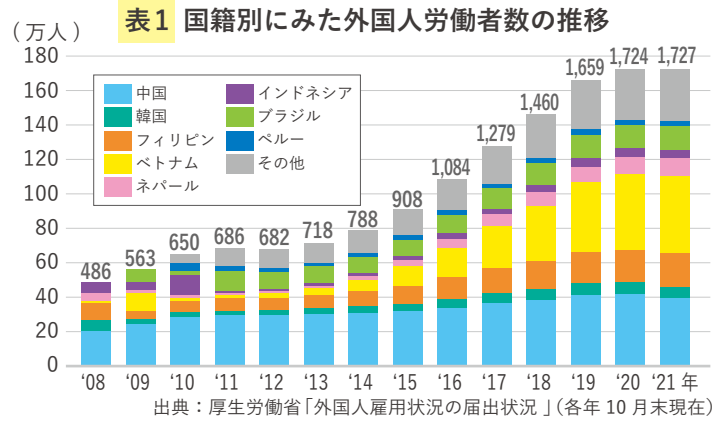


表2 外国人労働者雇用事業所数・外国人労働者数

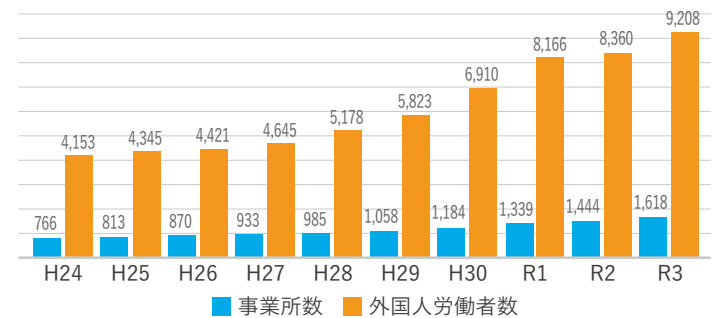


表3 国籍別外国人労働者の割合

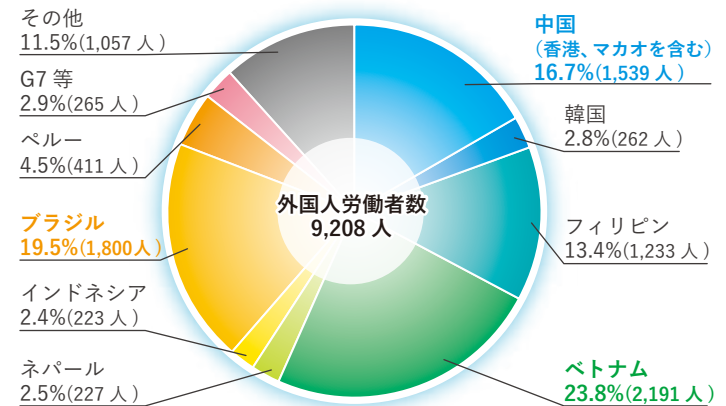


表4 在留資格別外国人労働者の割合

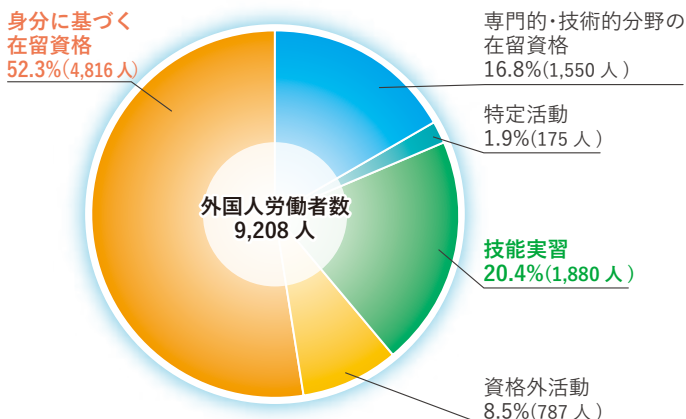
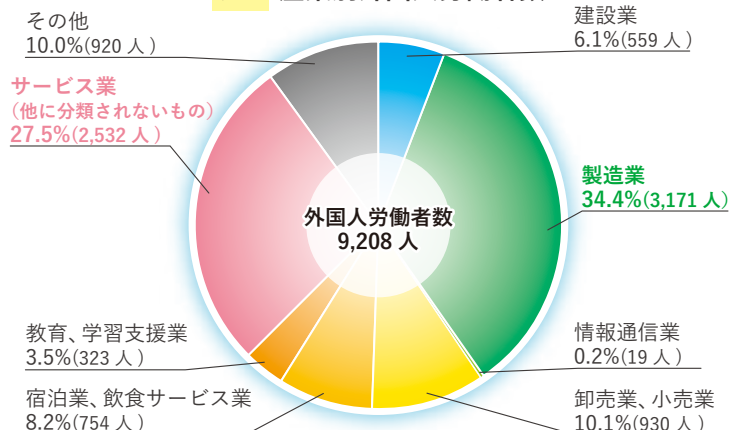


表5 産業別外国人労働者数



山梨県内の「外国人雇用状況について」
（厚生労働省 山梨労働局）

<https://jsite.mhlw.go.jp/yamanashi-roudoukyoku/content/contents/001071351.pdf>

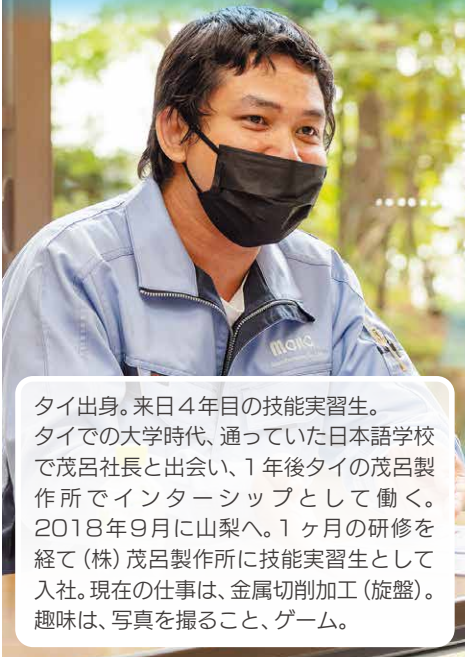


YIA Interview

言葉や文化・習慣の違いに戸惑いながらもそれぞれの分野で経験を積み、活躍をしている3名の方に山梨での就労に至った経緯や働いてみての感想を聞きました。

株式会社茂呂製作所

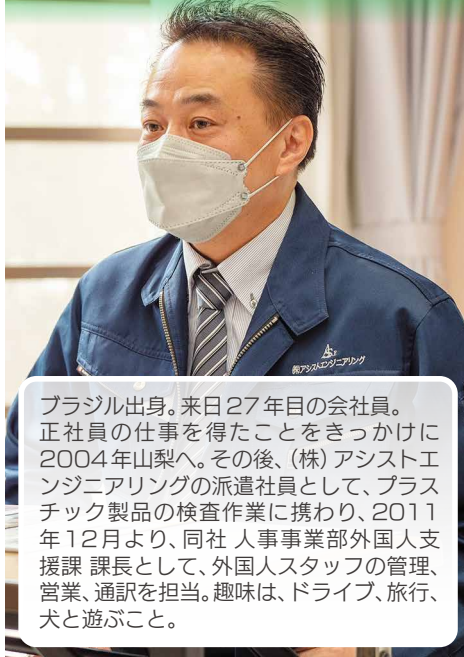
モータム リッティチャイさん



タイ出身。来日4年目の技能実習生。タイでの大学時代、通っていた日本語学校で茂呂社長と出会い、1年後タイの茂呂製作所でインターシップとして働く。2018年9月に山梨へ。1ヶ月の研修を経て(株)茂呂製作所に技能実習生として入社。現在の仕事は、金属切削加工(旋盤)。趣味は、写真を撮ること、ゲーム。

株式会社アシストエンジニアリング

内村 エデルシオさん



ブラジル出身。来日27年目の会社員。正社員の仕事を得心したことをきっかけに2004年山梨へ。その後、(株)アシストエンジニアリングの派遣社員として、プラスチック製品の検査作業に携わり、2011年12月より、同社人事事業部外国人支援課 課長として、外国人スタッフの管理、営業、通訳を担当。趣味は、ドライブ、旅行、犬と遊ぶこと。

社会福祉法人「光風会」

ファム・ティ・ベーさん



ベトナム出身。来日6年目の介護福祉士。大学時代、EPA*プログラムを知り、「日本で働きながら介護の勉強をしたい!」と、2016年来日。社会福祉法人「光風会」に勤務しながら、2020年介護福祉士国家試験に合格。趣味は、旅行、新しいことにチャレンジすること。
*経済連携協定。貿易の自由化に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルール作り、様々な分野での協力の要素等を含む、幅広い経済関係の強化を目的とする協定。

一日本にきたきっかけや山梨で働くことになった経緯を教えてください。

エデルシオ：父がブラジルで洋品店を経営し、私も手伝っていました。借金がかさみ、なかなか経営がうまくいかなかったこともあり、1995年にいわゆる「デカセギ」として日本に来ました。山梨に来たのは、それから9年後、正社員として就職が決まったからです。現在は、人材派遣会社(株)アシストエンジニアリングで、外国人に仕事を紹介・斡旋をしています。同時に、派遣社員へのポルトガル語、スペイン語の通訳として生活の支援(病院、銀行の付き添いなど)、仕事のトラブル対応や困りごと相談、メンタルケア、送迎など自分にできることは何でもしています。

私が勤務している会社は、NPO法人「未来の扉」を立ち上げていて、毎週木・金曜日の夜は、初心者を対象とした日本語講座のお手伝いもしています。

ベー：ベトナムで看護短期大学時代に、EPAプログラムを知り、日本で働きながら介護の勉強がしたい、今が絶好の機会だと思い、2016年来日しました。現在、社会福祉法人「光風会」で、介護福祉士として働いています。今年で6年目になります。

モータム：タイで日本語学校に通っている時に、今の会社、茂呂製作所の社長と出会い、1年後にタイの茂呂製作所でインターンシップとして働きました。その後、技能実習生として来日し、現在、茂呂製作所で金属切削加工(旋盤)の仕事をしています。図面を見ながら作るという毎日が勉強です。

一日本で暮らして、働いてあなたの生活や習慣に変化がありましたか?あったとしたらどんなことですか?

エデルシオ：19歳からずっと日本で働いていますので、日本で大人になったなと感じています。両親と一緒に来日しましたが、その後両親は帰国、私だけ日本に残りました。最初の仕事は

製造業で、1日10~15時間ずっと働き詰めでした。月に25日出勤し、残業もたくさんしました。ブラジルでは若かったこともあり遊んでばかりいましたが、日本で生活が一変、「自立」しましたね。

そして時間には厳しくなりました。ブラジルでは、バスや電車は時間通りに来ませんし、ブラジル人も待ち合わせの時間に遅れてきます。日本では時間前に到着するのが当たり前ですね。

ベー：日本で社会人となりました。短大時代、両親と離れて生活をしていましたが、週に一度は家に帰っていました。日本で1人で働いて、完全に自立、責任も取りながら生活しています。自分の中で変わったところは、「あいさつ」の仕方ですね。日本では、頭を下げる、時には腰まで曲げてあいさつをします。ベトナムに帰国した時、つい習慣になって頭を下げたら、とても驚かれました。ベトナムで頭を下げてあいさつするのは子どもだけです。

そして何より、「ありがとう」、「すみません」をよく言うようになりました。時間のことを言えば、ベトナム人も時間にルーズです。日本での生活にだいぶ慣れてきているので、相手が遅れたりすることにイライラする時がありますね、相手に厳しくなっています。

モータム：残業をすることに慣れてきました。日本人は真面目だと思います。仕事は午後5:30までですが終わらない時は残業します。私も皆を見ていて、仕事を終えようと頑張ります。

一働いてよかったこと、大変だったことを教えてください。日本(山梨)で働くメリットは何ですか?

エデルシオ：会社の人たちがやさしいことです。会長も社長も上司も面倒見が良く親切なので、社内の人間関係が良いです。大変なことは、人材派遣会社は労働関係などの法律が変わる度に勉強していかないといけないことです。専門用語もあり、ずっと勉強です。

また、派遣社員と意見の食い違いあった時などは、少し時間をかけて冷静になります。外国人は当たりが強い、自分が悪くても謝らない傾向があります、いろいろな人がいますからね。日本で働くメリットは、「平和」です。もちろん場所にもよりますが、夜歩いても問題はないです。日本では携帯を見ながら歩いている人がいますが、ブラジルで同じことをしたらすぐに取り立てられます。日本は安心、とにかく治安がいいです。災害に関しても、他県に比べて山梨は少なく、災害に強い県だと思います。台風も大雨も山があるので守ってくれているように感じます。地震も以前千葉県に住んでいた頃は毎週のようにありました。日本に来たばかりの頃、最初の地震は、揺れているのは自分の体調が悪いからなのかと思いましたよ。

ペー：介護は、人とコミュニケーションを取りながらする仕事なので、自然と日本語が上達します。お年寄り、今までの経験を話してくれたり、時には日本の歌も教えてくれます。おかげで日本の良さを知りました。大変なことは、教科書にはない方言ですね。甲州市は土地柄もありますが、特にお年寄りの方言は強いように思います。最初は大変でしたが、今は標準語との違いがわかるようになりました。ベトナムにいた頃、インターネットで見た山梨の桃やぶどうなどの果物が魅力的でした。桜と富士山の風景も見たいと思っていました。住み慣れたところが一番と言いますが、山梨を選択してよかったです。

モータム：よかったことは、技術を勉強して3年、お給料をたくさんもらえるようになったことです。タイに仕送りをしています。大変なことは、仕事を終えるために残業して製品を仕上げなくてはならないことです。日本語の漢字も難しいです。仕事が忙しいので、なかなか勉強する時間が取れないですね。日本のイメージは富士山です。タイにいる時から一度は登りたいと思っていました。山梨に来てから3回登りましたが、残念ながら全部雨でした。「雨男」です。ご来光を見たいので今年も登るつもりです。

－日本人の同僚と働いて印象的なことがありましたか？

エデルシオ：ブラジル人はダイレクトにものを言いますが、日本人は遠回しに話します。早く結論を言ってくれ、と思いますね。そして、悪くなくてもとりあえず謝るところです。日本の文化だろうから心得ておかなくてはと思っていますが、そんなに謝らなくてもいいのにという気持ちはありますね。文化の違いを感じます。

ペー：ベトナムもブラジルと似ていますね。ベトナム人も自分の気持ちをストレートに伝えます。日本人は曖昧な言葉が好きだと思います。私は答えを聞きたくて聞いているのに、「どうでしょうね」、「大丈夫かなあ」と言われてしまうことがあります。でも最近では、私もあまり答えたくない時に、日本人のように曖昧に答えたりします。不便なところでもあり、便利なところでもあります。一緒に働いているスタッフは私のことを、とても優しく温かく見守ってくれています。年上の人が多く、

私のことを娘のように思ってくれていて、いつも働きやすいと思っています。

モータム：仕事を教えてくれる先生は優しく、わかりやすい言葉で説明してくれます。とても尊敬しています。ただ、若い同僚たちが使う日本語は難しくてなかなか理解できません。

－お互いに仕事がしやすくなるためにはどうしたらいいでしょうか。

エデルシオ：「報・連・相(ほう・れん・そう)」が大切だと思います。報告、連絡、相談、重要なビジネスマナーですね。いい情報よりもよくない情報をきちんと伝えられるか、どんな些細なミスでも大きくなる前にみんなで話し合って報告し合う。失敗して勉強になることも多いです。困った時こそみんなで何とかしよう、どうやって解決するか、それができてこそ素晴らしい会社になるのではと思っています。

ペー：スムーズに働くためには「コミュニケーション」が大切だと思います。相手の気持ちを理解して、きちんと話をすること、文化の壁もあるので、外国人にははっきり言ってほしいです。相手が忙しい時には、気遣い、お互いに助け合う、コミュニケーションが大切ですね。

モータム：わからないことはきちんと聞くことです。わからないときはゆっくり話してもらっています。若い人ともきちんと話します。

－今後の目標を教えてください。

エデルシオ：日本に来て27年、昨年、娘に子どもが産まれて孫ができました。ブラジルにいる両親も含めて家族が困らないように、幸せにしたいです。仕事では、外国人のスタッフをもっと増やしたいです。タイ、中国、ベトナム、フィリピンなど通訳担当を増やして、ニーズに応えられるようにしていきたいです。

ペー：やさしい介護士になりたいです。今、ボランティアで通訳もしていますが、もっともっと多くの人の役に立てることをしていきたいです。将来は、看護師の資格も取りたい、ビジネス日本語や中国語、韓国語も勉強したいです。たくさんありますね。


モータム：もっともっと勉強して、タイでこの技術を活かして自分の会社を作りたいです。

📍 アジアン麺 📍

茂呂製作所では、インドネシア、ベトナム、タイから技能実習生を受け入れています。敷地内には、彼らが伝授した麺料理が楽しめるお店があります。

📅 営業日 月～金曜日 📞 電話番号 070-2654-6482

🕒 営業時間 11:00～14:00
(金曜日のみ 18:00～21:00も営業)



山梨県外国人材企業相談センター

山梨県では、県内企業からの外国人材に関する相談を受け付けています。

外国人の雇用を見直すには？どんな在留資格があるの？
技能実習生を受け入れるには？特定技能ってどんな仕組み？など

- 相談無料 秘密厳守
- 開設時間 午前9時～午後5時まで ※相談受付：午後4:30まで(土日・祝日・年末年始を除く)
- 場所 〒400-0035 甲府市飯田1-1-20 県JA会館5F TEL 055-225-5605 FAX 055-225-5658



毎年、国際社会の中で何をすべきか考えてもらおうとJICA国際協力エッセイコンテストを実施しています。2021年度のテーマは「私たちと地球の新しい未来」でした。中学生の部には2万3170点の応募があり、その中で最高賞の理事長賞を受賞した野中真里さんのエッセイを紹介します。

「ダブルの私にできること」

私の父はタイ人、母は日本人です。みんな私のことを「ハーフ」と言いますが、私の母は私のことを「ダブル」と呼びます。母は「ハーフという半分、何か足りないような気がする。パスポートも二冊持っているし、家もどちらにもある。言葉だってできるのだから、前向きにダブルのほうがいいじゃない」と言います。

私の学校ではウォカソンで集めた奨学金をタイやラオスの子供たちに贈る活動をしています。私は小学校低学年までタイに住んでいましたが、タイに奨学金をもらわないと中学校に行くことが困難な子供たちがいることを知りませんでした。そこでこの夏休み課題として、現地に行くことはできませんが、電話やインターネットを使って奨学金をもらっている生徒に直接連絡を取り、生活

状況や学校の様子を聞いてみることにしました。

現在タイもコロナ禍にあり、学校が閉鎖されていてなかなか連絡が取れませんでした。八月に入り、やっと連絡が取れるようになりました。本来ならば五月半ばから新学期が始まるのですが、感染者の急増に伴い、始業式が何度も延期となり、最近やっと分散登校が始められるようになったとのことでした。そこで事情を話し、先生のラインアプリのビデオ通話をお借りし、直接奨学生とお話をさせて頂きました。私と同じ中学二年生の男の子は、「いろいろ生活は大変だけれど、奨学金のおかげで中学校に行き、勉強することが出来てとても嬉しい。将来はバイクや自動車の修理工場を持ち、親の役に立ちたい。そして出来ればより多くの友達が奨学金を受けられるようにして欲しい」と言っていました。私は、「学校面倒くさいよね」とか「勉強やりたくないなあ」など友人と話していた自分が恥ずかしくなりました。

私たちは生まれる場所も、時代も何一つ自分で選ぶことはできません。奨学生たちが悪いわけでも、私たちが良いことをしたから今の暮らしができていっているわけでもありません。ただ運が良かっただけ。ただそれだけ

だと思います。

私は十月から生徒会長になります。生徒会の募金活動の際、私の大好きなタイのお友達に奨学金を必要としている人がいることを自分の言葉で伝え、私が通訳として直接会話をする機会を作り、交流をしてみたいと思います。支援する側も相手の顔が見えれば沢山支援をしたくなるし、支援してもら側も支援者の顔が見えれば、もっと頑張ろうと勇気をもらえるはず。まだ私にできることは小さいことかもしれませんが、「人と人をつなぐ」ということはできると思います。一人でも多くの人にいろいろな境遇の人がいることを知ってもらい、その中で何か小さな奇跡が起るよう協力していきたいです。それがダブルの私だからこそできることだと信じて頑張ってみようと思います。



JICA山梨デスク Facebook
<https://www.facebook.com/JICAyamanashi/>



JICA山梨デスク
<https://www.jica.go.jp/yokohama/office/suishinin.html>

JICA山梨デスク 清水貴央

(公財)山梨県国際交流協会内
 〒400-0035 甲府市飯田二丁目2-3
 JICA <http://www.jica.go.jp>
 Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473
jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



けんないゆいひつ しょくぎょうしょうかいゆうりょうじぎょうしゃ
県内唯一の職業紹介優良事業者です。
 しごと そうだんわりよう けんないざいじゆう がいこく かた
お仕事相談無料です。県内在住の外国の方、
 きがる れんらく
お気軽にご連絡ください！

LINE公式アカウントでも受付中 @398strhc

株式会社 アルビス
 ☎0120-053-052



19-ユ-300065 派19-300008

〒409-3822 中央市下三條550 やまなし転職・就職ナビ



アシストエンジニアリング

お仕事たくさんあります！
 中国・インドネシア
 ブラジル・ベトナムの通訳います



(株)アシストエンジニアリング
 山梨県中央市布施 2106-1
 ☎0120-713-809
<https://www.assisteng.co.jp>



ビザ なん そうだん
VISAのことなら何でも相談ください
 こうしん がいこくじんこうよう こくさいけっこん えいじゆう
 ビザ更新・外国人雇用・国際結婚・永住・
 きか ぎのうじっしゅうせいうけいれ ゆうりょうじんざいしょうかい
 帰化・技能実習生受入・有料人材紹介
 とくていぎのうどうろくしえんきかん
特定技能登録支援機関

中巨摩郡昭和町清水新居 1666
 TEL 055-233-0211

ビジネスサポート行政書士事務所

やまなしけんないがい
山梨県内外で「おしごと」を紹介します
 とうろくは いつでも簡単にできます
English, Portuguesも対応できます



Trend Co., Ltd.
株式会社トレンド

中巨摩郡昭和町河東中島 1151-7
 ☎0120-972-061
<http://www.trendco.biz>
 【派23-301642 23-ユ-301187】



TOTOリモデルクラブ会員 水廻りのリフォームおまかせください。

1969年設立
 リフォーム実績 500件以上！

信頼と実績、まかせて安心！

甲府住宅設備株式会社

〒400-0047 甲府市徳行二丁目 10-40
 ☎055-228-8821 (代)



リフォーム部門 楽水クラブ 0120-86-3246



あなたに合ったお仕事紹介します！
 日本語が少し分かれば働けます。

派19-300122 19-ユ-300091 中巨摩郡昭和町河東中島963-1
株式会社ネクストエイジ ☎055-275-3216

6月

医療通訳セミナー

Medical interpreter Seminar

医療機関において言語サポートをする
医療通訳に関するセミナーです。

オンライン (zoom) での開催です。

開催日時 6月18日(土) 10:00～16:30

参加費 無料



7月

外国人住民のための防災教室

Emergency drill for foreign residents

防災の基礎知識や日頃の備えに
ついて学ぶ「防災教室」を実施します。

開催日時 7月24日(日) 13:30～15:00

場所 県立やまなし地域づくり交流センター

共催 甲府市 協力 ACF 日本語学習会

8月

日本語資格取得講座「N3」

NIHONGO N3

日本語能力試験3級合格をめざす講座です。

開催日時 8月28日～11月27日(全14回)
日曜日 10:00～12:00

受講料 7,000円(全14回)

定員 約10名 場所 県立国際交流センター

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催中止になる場合がありますのでご了承ください。

グローバル支援事業「ウクライナ人道危機救援金」 Donation for Ukraine humanitarian aid

山梨県国際交流協会では、赤十字社が実施する救援活動を支援するため、県立国際交流センターに募金箱を設置し、救援金を受付けています。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。
受付 2022年9月30日(金)まで



PENTAS YAMANASHI 2022

山梨県立大学を中心に山梨大学、山梨英和大学、事業協働機関が協力して提供する、学生と社会人の垣根を超えた教育プログラムです。多様な文化を学ぶ「多文化共生対応人材育成プログラム」も充実しています。社会人も大歓迎！
山梨県国際交流協会は、事業協働機関です。
<https://www.pentas.yamanashi.jp>



にほんご講座(初級)

NIHONGO

電話で予約をしてください。TEL 055-228-5419
毎週金曜日18:30～20:30 / 毎週日曜日10:00～12:00
県立国際交流センター



山梨県国際交流ボランティア人材バンク

通訳や翻訳など、人材バンクに登録いただける方を募集しています。また、公的機関などからの依頼に応じて、紹介を行っています。



山梨県国際交流協会(YIA) facebook



やまなし外国人相談センター Yamanashi Foreigner Consultation Centre

外国人の皆さんからのさまざまな相談を受け付けています。日本語がわからなくても大丈夫です。相談は無料です。
火曜日から土曜日 9:00～16:00(祝日を除く)
県立国際交流センター 2F

TEL 055-222-3390



外国人のための無料法律相談(予約制) Free Consultation

弁護士が対応します。
毎月第1水曜日 18:30～21:00 第3日曜日 13:00～16:00
県立国際交流センター TEL 055-228-5419



国際交流センター会議室ネット予約できます!

Conference room

施設予約サービス「やまなしくらしねっと」からご予約いただけます。

料金表

	午前 9:00am - 12:00pm	午後 1:00pm - 5:00pm	夜 6:00pm - 9:00pm	全日 9:00am - 9:00pm
大会議室	2,310円	3,470円	3,470円	9,250円
小会議室	750円	1,150円	1,150円	3,050円

やまなしくらしねっと施設予約 検索



会議室の予約方法は

http://yia.or.jp/wordpress/?page_id=415



県立国際交流センターは、「やまなしグリーン・ゾーン認証施設」です。

国際交流協会では、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、事業等を実施しています。

編集後記 Editor's Note

今回のインタビューでは、山梨で働く3人の外国人住民の皆さんにお話を伺いました。母国を離れ、言葉や文化の壁に戸惑い、時にはへこみながらも、強くたくましく、山梨で頑張っている姿に、聞き手の私がパワーをいただきました。多くの外国人住民の皆さんが山梨で働き、一緒に山梨を支えてくれています。皆さんの職場や地域には、どんな国や地域の人たちがいますか。 雨宮

YIA Newsletter 2022年夏号(6月・7月・8月)

編集/発行 公益財団法人 山梨県国際交流協会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-3

TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473 受付時間 9:00am～9:00pm

休館日 毎週月曜日(祝祭日を除く) および祝祭日の翌日、年末年始(12/29～1/3)

URL www.yia.or.jp Email webmaster@yia.or.jp

